

女性研究者の参画を妨げる 無意識のバイアス —学会で何ができるのか?—

日時

令和6年
9月26日(木)
12:00-13:00

対象

参加費無料(昼食50名提供)
大会参加者・学会役員、ご興味
がある方はどなたでも

会場

京都大学
吉田キャンパス
W520講義室

Web

Web配信
QRコードからご登録下さい



講師：裏出 令子 先生

(京都大学農学博士)

所属：京都大学名誉教授・京都大学複合原子力科学研究所
特任教授

専門：食品生化学(タンパク質の構造と機能)

- 一般社団法人男女共同参画学協会連絡会 2020年度
副委員長
- 現在、同連絡会で内閣府等関連省庁への提言・要望活動
および「無意識のバイアス」の啓発活動を推進されている



【講演内容】

日本の企業やアカデミアに所属する研究者の女性割合は、OECD諸国の中で最下位であり、ジェンダーギャップ改善の速度は諸外国と比較してきわめて緩慢である。この背景には、家父長制度の中で形成された性別役割分担やジェンダーステレオタイプで代表される“無意識のバイアス”がある。本講演では、「無意識のバイアスとは何か」、「無意識のバイアスがどのように女性の参画を妨げているのか」を研究例などを紹介しながら講演する。また、日本の学会におけるジェンダーギャップの実態を紹介し、学会に求められる取り組みについて、お話しする。